

# 岐阜県家庭教育学級実践事例

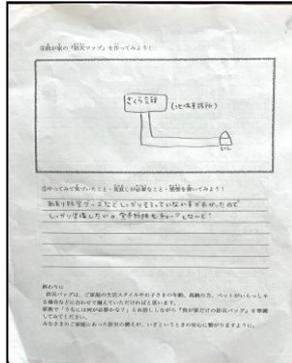
## 体験活動参加型+在宅取組型(小学校)

学校名等	大垣市立墨俣小学校
実施日時	夏休み期間
会場	各家庭
参加人数	全校生徒とその保護者
学習課題	我が家の防災見直し大作戦(家族の大切さ・命の大切さ)
運営者の願い	防災を「特別なもの」として構えるのではなく、家庭の中で日常的に意識できるものとして見直すきっかけになればと思い計画した。 家族で話し合い防災をより身近に感じ、子ども自身が「自分の命を守る力」について考える機会にもしたい。 また、各家庭の状況に合わせて、無理のない形で防災に取り組み、日々の備えとして継続していけることを目的とした。

### 学習の内容

#### < 取組内容 >

- ・ 防災チェックリストと非常食を配布。非常食は児童1人につき1つ配布。
- ・ 家族で"我が家の防災会議"をしてチェックリストを完成させる。
- ・ 非常食を実際に食べる体験をする。
- ・ タブレットを使い防災について調べる。



【防災見直しチェックリスト】 【わが家の防災マップ】 【タブレットで調べる】

#### < 感想 >

- ・ 非常食はあまりおいしくないと思っていたけど、食べてみたら意外とおいしかったです。
- ・ いろいろな防災グッズがあることがわかりました。
- ・ 非常食の期限が5年や7年と、すごく長いことを初めて知りました。
- ・ 自分の命を守るための準備が大切だと思いました。
- ・ 家でも防災について調べてみたいと思いました。
- ・ 自分にできる防災を考えることができました。

#### < 保護者の声 >

- ・ 家族で避難場所や連絡方法について話し合う良い機会になった。
- ・ 非常食の期限を改めて確認し、防災への意識が高まった。
- ・ チェックリストが分かりやすく、子どもと一緒に確認できた。
- ・ 防災を難しく考えていたが、いざという時のために準備を始めようと思えた。
- ・ 非常食を実際に見て、子どもが他にはどんな非常食があるか興味を示していた。
- ・ 親子で話す良い機会になり、防災意識が高まったと感じた。
- ・ 普段話題にしない防災の話を家族で共有できてよかった。



#### 非常食の配布

非常食を配布することで、防災を身近に感じるきっかけにした。

実際に非常食を食べる経験を通し、非常時にどのような食事になるのかを具体的に知り、家庭での備えや見直しについて考える機会につなげ



#### タブレットの活用

タブレットを活用し、他にどのような非常食があるのか、防災グッズや、避難場所などさまざまな内容について調べる活動を行った。

調べた情報をもとに、家庭ごとに必要な備えや行動について考えることで、防災を自分ごととして捉え、日常の備えにつなげようとした。また、防災について幅広く調べることで、「もしもの時に自分はどのよう行動するか」を考えるきっかけになればと思った。